

3 中 学 校

生徒数 30,448 人で減少

長期欠席者数は減少

表 9 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増 減 率	教員数 (本務者)	対前年度 増 減 率	生徒数 C/B	対前年度 増 減 数	生徒数 C/D	対前年度 増 減 数	
平成18	86	955	30,076	△1.1	2,085	△0.3	31.5	△0.3	14.4	△0.1	47.4
19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0	47.8
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
国立	1	12	479	0.2	24	0.0	39.9	0.1	20.0	0.1	29.2
公立	81	991	29,650	△1.5	2,110	0.7	29.9	△0.3	14.1	△0.3	48.3
私立	1	9	319	△7.8	19	△9.5	35.4	0.8	16.8	0.3	31.6

(1) 学校数

学校数は前年度より 1 校減少（廃校）し、83 校（本校 83 校）となった。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 81 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 28 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校等となっている。

学級数別学校数をみると、7 学級、12 学級、13 学級がいずれも 8 校で最も多く、次いで 3 学級、11 学級、20 学級が 6 校ずつとなっている。（表 9、統計表 36、38）

(2) 学級数

学級数は 1,012 学級で、前年度より 8 学級減少した。

編制方式別にみると、単式学級が 910 学級（構成比 89.9%）、特別支援学級が 102 学級（同 10.1%）となっている。（表 9、統計表 37）

(3) 生徒数

生徒数は 30,448 人（男子 15,586 人、女子 14,862 人）で、前年度より 470 人（1.5%）減少した。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 34.3%となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 30,165 人、特別支援学級生徒が 283 人となっている。

市町村別では、富山市 11,821 人、高岡市 4,742 人、射水市 2,707 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 116 人（1.0%）、高岡市 113 人（2.3%）、射水市 74 人（2.7%）など 12 市町村で減少している。前年度より増加したのは、砺波市 35 人（2.3%）、滑川市 17 人（1.7%）、黒部市 2 人（0.2%）の 3 市であった。

1 学級当たりの生徒数は 30.1 人（前年度 30.3 人）で、全国の 29.4 人を上回っている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.1 人（前年度 14.4 人）で、全国の 14.2 人を下回っている。
（表 9、10、統計表 40、51）

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成18	30,076	15,324	14,752	9,846	10,051	10,179
19	30,456	15,483	14,973	10,551	9,849	10,056
20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539
22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039

（４）教員数及び職員数

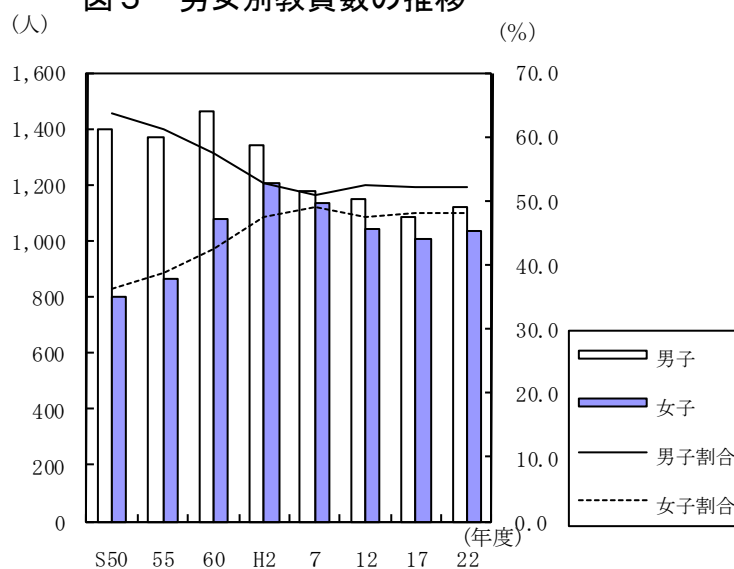
教員数（本務者）は 2,153 人（男子 1,120 人、女子 1,033 人）で、前年度より 12 人（0.6%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 48.0%となっている。

職員数は 300 人で、前年度より 8 人減少した。
（表 9、11、図 5、統計表 45、49）

表 11 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 18	2,085	1,096	989
19	2,113	1,104	1,009
20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025
22	2,153	1,120	1,033

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 21 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 20 年度間より 61 人 (6.4%) 少ない 885 人で、理由別では「不登校」が 700 人 (構成比 79.1%) で最も多く、次いで「その他」が 109 人 (同 12.3%)、「病気」が 73 人 (同 8.2%) となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.69 ポイント低い 2.86% で、低い順に全国第 7 位 (前年度第 9 位) であった。

また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.51 ポイント低い 2.26% で、低い順に全国第 4 位 (前年度第 5 位) であった。

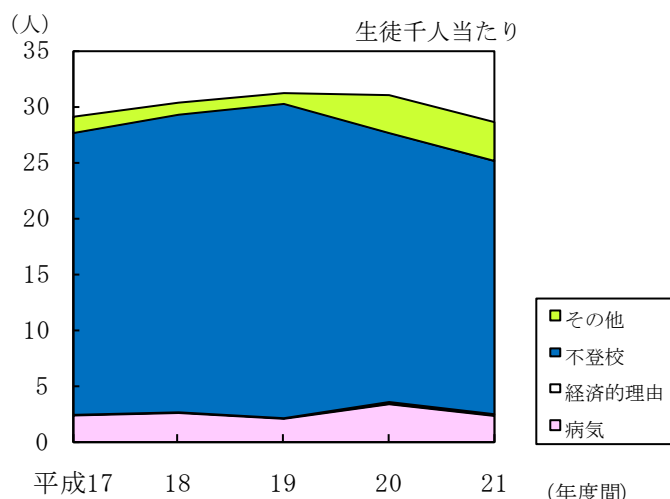
(表 12、13、図 6、7、統計表 42)

表12 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成17	885	73	—	767	45
18	914	79	—	802	33
19	952	64	—	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図6 長期欠席者の理由別



生徒千人当たりの長期欠席者数 = $\frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$

表13 全生徒数に占める
不登校の比率

年度間	(単位：%)	
	富山県	全国
平成17	2.52	2.75
18	2.67	2.86
19	2.82	2.91
20	2.41	2.89
21	2.26	2.77

比率 = $\frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$

図7 長期欠席者の推移

